

## 第五主日礼拝

午前 10:30-11:30

(YouTube 同時配信)

前奏・黙祷

招 詞 詩篇 22 篇 23-24 節 (旧約 953)

賛 美 主のよみがえり (教会福音 139)

交 読 詩篇 111 篇 1-10 節 (旧約 1053)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 ルカの福音書 5 章 1-11 節 (新約 117)

牧者公祷 (換気を行います)

説 教 『今から後、あなたは』

松井元始牧師

応答のとき

賛 美 主イエスの御声は罪ある者を (教会福音 319)

頌 栄 父・子・聖霊の (教会福音 271)

祝 祷

後奏・黙祷

\* \* \*

報 告

【献金は週報に添付の封筒を用いて、入口の献金かごにお入れください】

〈司会〉 〈奏楽〉 〈受付〉 〈聖書朗読〉 〈感謝祈祷〉

【第1部】

【第2部】 松井師 牧子師

司会者

配信をご覧になれない方には CD を後日お届けできます。お申し出ください。

インマヌエル王子キリスト教会

牧師: 松井元始・牧子

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>E-mail: [immanuelojichurch@gmail.com](mailto:immanuelojichurch@gmail.com)

銀行振込: みずほ銀行 王子支店 普通 1364893



## 『今から後、あなたは』 (ルカの福音書 5 章 1-11 節) 2023.4.30.

〈はじめに〉 物事には始まりがあります。一大転機を経る場合もあれば、いつの間にか始まっていたと後で気付くこともあります。この物語は漁師であったシモン・ペテロがイエスの弟子として踏み出すシーンです。彼の中で何が起こったのでしょうか。イエスは彼に何をしたのでしょうか。

### I イエスについて行く(10-11)

#### ① すべてを捨てて (11)

イエスを信じる者は、イエスとともに歩み、イエスのことばと生き方に日々従って生きていきます。漁師たちはイエスに従う重大な決断をしています。最初からそのつもりだったのでしょうか。

2 節で彼らがしている作業は何のためですか。「すべて」を具体的に挙げると何でしょう。

#### ② 人間を捕る(10)

ペテロたちをその決断へと導ききっかけは、10 節のイエスのことばです。漁師は魚を捕って人々に届けます。前夜の不漁から一転しての大漁に、彼らは喜びを通り越して驚きました。神のことばを求める群衆に届けるイエス(1)は、彼らにもそうなれると言われます。

### II 網を下ろして魚を捕りなさい(1-7)

#### ① 舟から教えるイエス(1-3)

イエスは湖畔にある小舟を見つけ、シモンに舟を陸から少し漕ぎ出しよう頼まれます。その時、舟主である漁師たちは何をしていましたか。イエスが舟に乗って、そこから群衆を教えたのはなぜですか。イエスが話される間、シモンはどこで何をしていたでしょう。

#### ② 深みに漕ぎ出して(4-5)

話が終わってイエスがシモンに「深みに漕ぎ出し、網を下ろして魚を捕りなさい」(4)と言われたのは、どうしてでしょうか。それに対してシモンは何と答えましたか(5)。漁を行うのは、大方明け方までです。彼のことばから、その思い・考えも察してみてください。

#### ③ 網が破れそうなほどの大漁(6-7, 9)

降ろした網を引くと異様な手ごたえでした。網はおびただしい魚でいっぱいです。網を引き上げるために仲間にも助けを仰ぎ、魚は二艘の舟いっぱいになりました。この大漁はシモンにとって予想通りでしたか。漁師なら大漁を喜びますが、彼らはどうでしたか(9)。

### III 恐れることはない(8-11)

#### ① 主よ、離れてください(8)

大漁へのシモンの反応は意外です。イエスに協力して舟を出したことで、望外の大漁を得て大喜びしてもいいはずですが。なのに彼は自分の罪深さに気づき、イエスを避けます。何が罪深いと分かったのでしょうか。相手と距離を置こうとするのはどんな心境でしょうか。

#### ② 罪深い人間(8)

シモンは何か悪いことをしたのでしょうか。彼が自覚した罪深さはイエスとの向き合い方、思いにあります。漁の素人イエスの提案に表向き従うも、魚が捕れるとは思っていません。彼の二面性、従順そうに装うズルさと、イエスの誠実とそのことばの真実は対照的です。

#### ③ イエスのまなざし

イエスは、シモンの「でも、おことばですの」のことばに信仰の片鱗を見、自分の罪深さを見つけ、それを告白する正直さに目を留められ、「恐れることはない」(10)と言われます。今は未熟であっても、主は彼を育て、用いようと、彼に働き掛け、造り変えられます。

〈おわりに〉 神の子イエスの御力と御業を求めて群がり、この御方を利用しようとする人は多くても、イエスと真実に向き合い、自分を探り、その心を正直に告白する人はどれほどいるでしょう。イエスは後者を探し求め、目を留めて、その人を新しい生き方へと導かれます。(H.M.)